

私のお気に入り「佐藤クリーニング店」
大切な衣類を丁寧に仕上げてくれます!

Moriya ナビ

大通りには面していないのですが、線路沿いにお店を構えられて、48年。綺麗な店内に温かい雰囲気に対応してくれるお店が「佐藤クリーニング店」さんです。ご主人が、一枚一枚丁寧にかつ抜群の技術で仕上げてくれます。

実は弊社社員も、小金井在住ではありませんが、「佐藤クリーニング店」さんは他とは仕上がりが全く違うと、自宅から衣類を持って来てお願いしている程です。

一度、「佐藤クリーニング店」に衣類のクリーニングをお願いしてみませんか。その違いを皆さんもきっと、実感できると思います。



ご結婚50周年とか。息の合った佐藤さんご夫妻です。



佐藤クリーニング店
小金井市貫井北町1-3-3
電話042-321-5075
7:00~19:00
日曜・祭日は休業日

掲示板

「おいでください! 地域感謝デー」

地域の皆様にご好評の地域感謝デーを11月3日(水)10時から開催します。回を重ねる毎に多くの方にご来場いただき、社員、スタッフ一同感謝いたしております。今回も是非お出かけ下さい。お待ちしております。



Moriya
ひと紹介



橋本次郎さん(橋本建具)

叩き上げの建具職人!
いつも穏やか、控えめです

最近では既製の建具が多くなってきていますが、やはりその家にピッタリのものとなれば、手づくりの注文建具になります。そこで、橋本さんの出番

です。また、立て付けの悪くなった建具の調整・修繕も丁寧に対応してくれます。

22歳で故郷・福島から上京、修業先はとて厳しいところだったそうですが、そこで朝早くから夜遅くまで努力し叩き上げた根っからの職人です。今は息子さんと仲良く二人三脚で仕事に励む微笑ましい姿も見られます。

守屋会長とは50年以上のつきあいです。真面目で遠慮深くあまり目立たないのですが、大好きなお酒が入ると、朗らかになって冗談も飛び出します。75歳になった今もとても元気! 昔ながらの竹製物指しを使って寸法をとり、まだまだ現役です。

Moriya 通信

— 住まいの玉手箱 —
No.35 2010.10

発行:(株)守屋工務店 Moriya通信編集部
〒184-0015 小金井市貫井北町5-21-2
TEL 042-322-5438 FAX 042-325-1011
E-mail moriya-koumuten@bd.wakwak.com

No.35 2010.10
Moriya 通信

— 住まいの玉手箱 —

小金井市W邸



玄関までのアプローチは煉瓦の縁取りが素敵です。バーゴラの木組みも見事にできあがりました。広々としたバルコニーもお気に入りです。

p4-5

新築・W邸

着工から引渡しまで

p3

新連載

道具の話「鋸やりがんな」

p6-7

みんなのコラム
— 私の宝物 —

(株)守屋工務店 〒184-0015 小金井市貫井北町5-21-2 TEL042-322-5438
http://www.moriyakoumuten.com

住まいの玉手箱



お手入れ

LED電球を使ってみませんか?

年末の大掃除が近づいてきました。家の中のどこかを「LED電球」に取り替えてみませんか?製品の価格は従来の電球の20倍以上ですが、消費電力は15%以下（寿命は40,000時間）で、総コストは1/5というエコ商品です。これまでの電球型蛍光灯の欠点もクリアした良いことづくめの照明器具と言われています。ただ、従来の電球とは光の質が異なり、あのホッとする暖かみは期待できません。お部屋の用途など考えて、一度に全部替えるのではなく、様子を見ながら取り入れるのが良いでしょう。



情報

フラット35

住宅購入で、まず迷うのは、どの住宅ローンを選ぶかです。「フラット35」とは、住宅ローンの1つで、省エネ型の基準を満たせば最長35年の長期固定金利を使えるので、毎回の返済額が確定し、計画的な返済を行うことができます。また、フラット35の平均金利は、公庫の基準より低く、借りる際の収入基準が少なくてよいので、借りやすくなっています。しかし、金融機関ごとに金利は異なり、一律ではないので、金利や条件を考慮して最適な金融機関を選択することがポイントです。



情報

住宅エコポイントについて

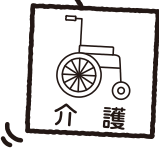
住宅エコポイントには、新築とリフォームの2種類があります。新築の場合は、一定の省エネ基準を満たす住宅に、1戸あたり一律300,000ポイント(30万円相当)が発行されます。リフォームの場合は、①窓の断熱改修、②外壁、屋根・天井または床の断熱改修、③バリアフリー改修（①または②の工事と一体的に行う場合）の3つが対象となります。こちらも一定の基準を満たせば最大300,000ポイントが発行されます。ポイントの申請期限は平成23年12月31日までです。当社で手続きのご説明を致しております。お気軽にご相談下さい。



防犯



耐震



介護



収納



アイデア

道具の話



槍鉋とも書き、言葉の通り槍のような形をし、刃先に向かってやや上に反っている。写真の刃の長さは5寸（約150mm）、巾1寸4分（約42mm）の刃に長い柄を取り付けたもので、刃を材木に斜めに当ててボートのオールを握るように、柄の両端を持ち、そのまま身体ごと手前に引くとくるくるとラセン状に巻いた削り屑が出る。押して削ることもある。

鉋（まさかり）や斧（ちょうな）等で荒く削った後の仕上げに削る道具として用いられたのが「槍鉋」である。

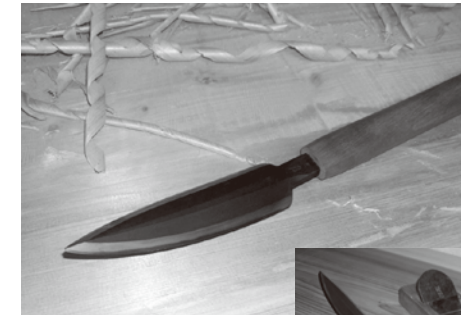
広辞苑第六版には、やりがんな「槍鉋・鋸」…古代の鉋。槍の穂先の反った形の身に柄を付けたもの。室町時代に現在の台鉋ができ、これに取って代わった。と解説がある。



住まいづくりに関連する「道具」についてご紹介します。

「道具は命」という言葉がありますが、職人は仕事によって様々な道具を使います。「道具の手入れも仕事のうち」などとも言い、昔からいろいろな道具が大切にされてきました。時代と共に消えていった道具や、姿、形が変わっていった道具もあります。

さあ、今回は「鋸」をご紹介します。



鋸(やりがんな)



鋸と台鉋(だいかんな)

▲この槍鉋は東京足立区の湯沢昭男氏（鍛冶銘：正芳）による作品である。刃先から刃元まで研ぎ面が平らに出来ており、平らな砥石に研ぎ面が密着するため研ぎやすく、改良された作りとなっている。道具であると同時に芸術作品ともいえる作品だ。

現在広く使われている鉋は、檜（カシ）の木のついた「台鉋」というもので、室町時代半ば頃に大陸に渡ってきた。台鉋が普及する前は、鉋といえば、槍鉋のことを指していた。

台鉋の普及と共に槍鉋は急激に姿を消したが、当時の削り痕などから刃物を推定して作られた、いわば復刻版ともいえる道具である。

新築

W邸

着工から引き渡しまで

今回は、新築工事の着工から完成までをご紹介します。
W様ご夫妻は、打ち合わせのために、何回当社の会議室を訪れたことでしょう。そしてまた、工事が始まってからは寒い日も暑い日も熱心に現場に足を運んでくださいました。そしてこだわりのマイホームが完成しました！



1/23 地鎮祭

寒い日でしたが、青空のもと地鎮祭を行いました。
設計・施工のご依頼をいただいてから、何度も打ち合わせを行い、ホーミー教室にもご参加され、この日を迎えました。



2/1~ 基礎工事

ベタ基礎*の工事中です。

*建物の底部のコンクリートが一枚の板状になっている基礎。地震や台風などの衝撃を効果的に地盤へ逃がすことができます。地面をコンクリートで覆うのでシロアリを防いだり、地面からの湿気を防ぐ効果もあります。



こんなにたくさんのお木を使うんですねー！と奥様

2/26 材木工場の見学

W邸に使用する材木を大工さんが手で刻んでいるところを見学。西多摩郡瑞穂町にある弊社工場にいらしてくださいました。

注目

近年、木材をあらかじめ加工しておく「プレカット」が多いのですが、当社では、大工さんが材木を1本1本見ながら、どこにどの木を使うかを考え、墨付けをして手で刻みます。



3/11 上棟

いよいよ上棟の日です。この日も雲ひとつない青空に恵まれました。
夕方には、上棟式です。直会（なおらい）の後には、大工さん全員で木遣りをうたいます。



エンヤ〜ア コーレー♪

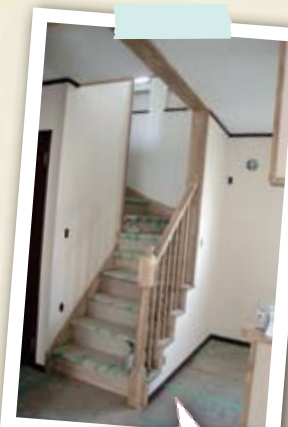
守屋工務店全員でうたっていただいた「木遣り」は思わず涙ぐみほど感激しました

4~7月 順調に進行中

W様ご夫妻は毎週工事現場に足を運んでくださって、細かなところまで確認して頂きました。大工さんともすっかり仲良しに。



だんだん家の形が出来てきました。



内装工事も順調に進んでいます。

8/4 引き渡し

ついに完成！ 引き渡しです。プランニングの打ち合わせから完成までのさまざまなことが思い出されて、胸がいっぱいのW様です。



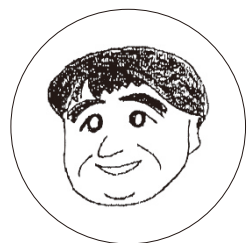
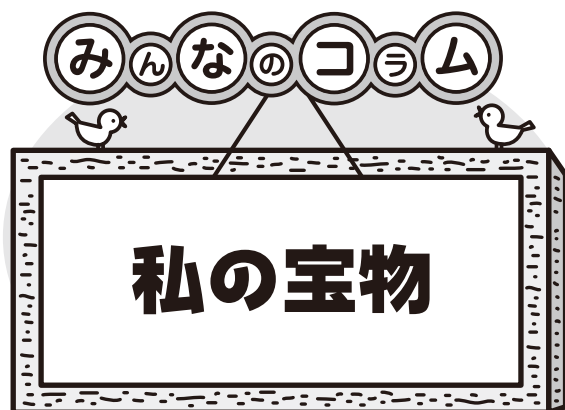
W様からのコメント。

おぼろしい家になりました！

3年前の実家の立て替えをご縁に、このたび私たちの新居をお願いしました。要望を聞いて、1cm刻みの細やかな設計をしていただき、嬉しかったです。

24cmの柱（写真左端）は家の核になり、見るたびに安心感がわきます。ニッチ（中央）は千葉大工さんにお任せしミニギャラリーの雰囲気が出ました。さらに手摺下を柵にいただいた階段は風通しがよく、気持ちのいい空間になりました。

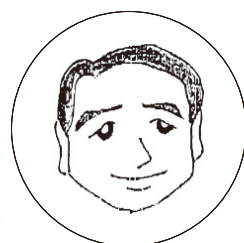




熱血教師
【会長】守屋辰雄

師匠からの一言

何時の時代でも決して変わる事のない（自然の法則）。これは私の師匠の教えの一つで常に「遠い将来の為に如何に生きるか？」を冷静に判断してそれを基に決断するという事です。師匠のこの一言が私の宝物です。人生の終焉を迎えていざその時に後悔しない為に日々を大切に過ごす事が心の宝物です。



信頼度No.1
【社長】守屋辰彦

息子の涙

息子が6年間続けてきたチームのサッカーの試合で負けた時、その直後は肩を落としているという感じでしたが、家に帰ってきて風呂からなかなか出てこない息子を見に行った時、大粒の涙を流しながら悔しがっている息子がいました。くやし涙は次の段階への大きなステップになると思います。この涙は息子にとって、とても大きな宝物になったと思いますが、成長した息子の涙は、父親の私にとっても忘れ難い宝物です。



オールマイティママ
【経理】守屋祥子

家族と過ごす時間

私の宝物は、子どもたち、家族と過ごす「時間」です。
先日、神社のお祭りに次男を連れて3人で出かけたのですが、中学生の長男は当然のように友人たちと出かけて行きました。いつまでも親に付いて来られても困りますが、いま4年生の次男もあと僅かで同じように友達との時間を大切にしたいと思います。
忙しい日々ですが、子どもたちと過ごせる時間を大切に、なるべく多く持っていきたいと思います。

大工道具

私の宝物は大工道具です。道具を大事にする事は、「難しい仕事や、大変な場面を迎えた時に、その道具は必ず恩返しをしてくれる」と教わった言葉が心に響き、我が子のように扱っています。どうすれば、切れ味が良くなるか。道具と会話をしながら調整や手入れをしています。今までに教わった事や、経験させて頂いた事も自分にとっての宝物です。



熱意とこだわりの仕事師
【大工・設計監理】立花慶次

家族

子供の頃は、メンコにビー玉。勝負に勝って毎日溜って
いって机の引出しいっぱいになり、繰り返し数えていました。社会人になった頃は古銭集めに没頭。でもこの年になると、家族が一番の宝物。女房、子供、孫の健康に留意しつつ、皆が幸福になれる様に思う今日この頃。



設計の匠
【設計課長】鈴木浩司



仕事の魔術師
【営業主任】今井治彦



輝く女性の感性
【設計】井上佐智子

玉川上水

朝30分位、家の近くの
玉川上水を散歩しています。
四季折々の景色を肌で感じながら歩いていると心も身体も元になります。夏の暑い日射しを遮ってくれた緑のトンネルがこれから秋になるにつれて赤や黄色に色づいていきます。身近なところにこんなに恵まれた場所があるなんて・・・！
私にとって、お金では買えない「宝物」と言えると思います。

一角獣のおき物

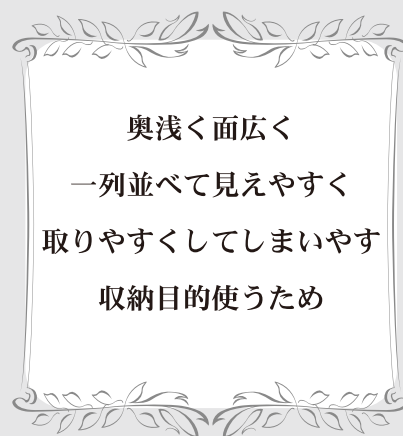
学生の時、街のしゃれた雑貨店のショーケースで、ふと目にとまった陶器製の「一角獣」。何度かその前を通り過ぎるたびに気になって、ある日とうとう購入しました。どこかの外国製の物であったと思います。ずんぐりむっくりな体型の白馬なのですが、愛らしい顔立ちで、先のとがっていない角が、ちょこんと「ひたい」についています。
なにか幸運を運んで来てくれそうな気がして、たまに「よろしく」と声をかけています。

ホーミー教室

収納庫

closet

収納の目的は品物をすぐ取り出すことが出来、済んだあとは簡単に元に戻せることです。その品物が使われる場所の近くに収納することが必要なわけですが、このことは逆に、「いろいろなものを使うことが多い場所には、なるべく収納スペースを取るべきだ」ということになります。



収納庫・棚は扉を開けたら誰にでも一目瞭然……、何がどこにあるのかすぐにわかるようであれば意味がありません。
たとえば、押入れの上の天袋などは何でもかんでも押し込むだけという使い方になりがちです。もし、両面から使える場所であるなら、両方に戸をつけて奥を浅くして使えば、押し込み収納にならず効率もよいでしょう。ただ、押し込んでいいもの、ときどき使うもの、このあたりの区別を考えるのも知恵の出どころでしょう。なお、収納スペースをやたらに作ってしまうのも考えものです。